国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年１０月３０日
四国地方整備局　　四国技術事務所
高知河川国道事務所
中村河川国道事務所

～危険な災害現場での復旧作業のために！～

遠隔操縦式バックホウの操作訓練を実施します



四国技術事務所が保有する遠隔操縦式バックホウ2台および中村河川国道事務所が保有する簡易遠隔操縦装置を使用し、災害現場での遠隔操縦技術の習得を目指した訓練を行います。

近年、全国では土砂災害や地震が頻発していますが、災害発生直後の現場では二次災害の恐れからバックホウにオペレータが搭乗する通常の作業が危険な場合があります。そのような危険な現場において、遠隔操縦式バックホウ等を活用することで安全で迅速な作業が可能となります。

○日時　【四国技術事務所会場】
令和８年１１月１０日（火）９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０
１１月１１日（水）９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０
１１月１２日（木）９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０
【高知会場】
令和８年１２月　３日（木）９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０
１２月　４日（金）９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０

○訓練対象者（建設会社のオペレータ）
- 国と災害発生時の応急対策活動等の協定を締結した建設会社
- 国発注の維持工事等を受注した建設会社

○見学者　　建設会社関係者等

○開催場所　【四国技術事務所会場】
国土交通省　四国地方整備局　四国技術事務所内
（香川県高松市牟礼町牟礼１５４５）
【高知会場】
物部川右岸3K/0付近
（高知県南国市物部　物部川橋より下流付近）

本施策は、四国圏広域地方計画の
「1.1　大規模自然災害への防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先

■操作訓練及び四国技術事務所会場に関すること

国土交通省　四国地方整備局　四国技術事務所　(代表)ＴＥＬ（０８７）８４５－３１３５

副所長　石原　伸彦（内線２０５）

◎施工調査・技術活用課長　大岡　正憲（内線３８１）

■高知会場に関すること

国土交通省　四国地方整備局　高知河川国道事務所　(代表)ＴＥＬ（０８８）８３３－０１１１

副所長　外山　定夫（内線２０４）

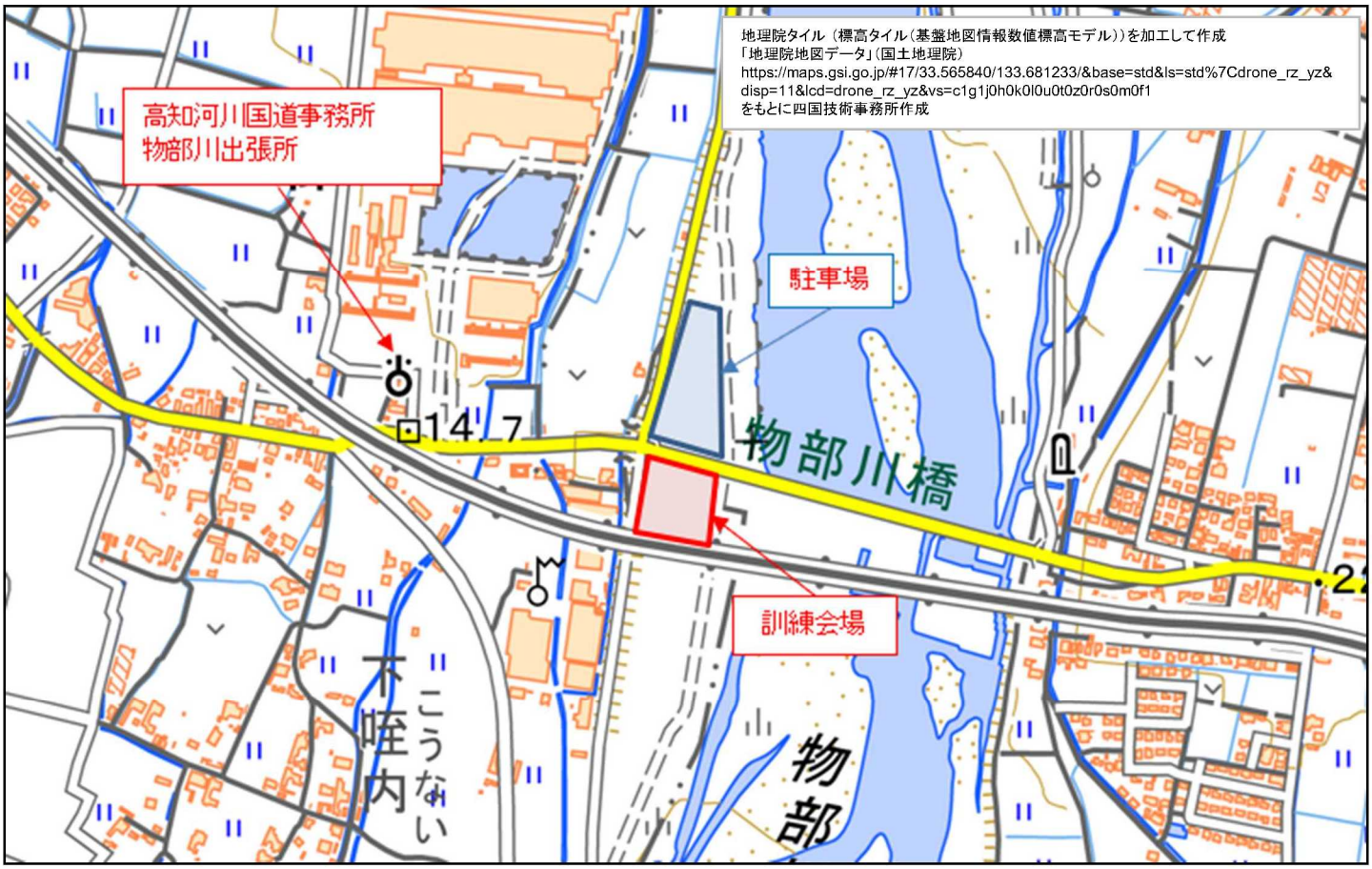
◎施設管理課長　伊藤　昭宏（内線３９１）

◎：主な問い合わせ先

四国技術事務所会場　位置図



高知会場　位置図



遠隔操縦式バックホウ訓練風景（Ｒ７．１１．６～７）

直接目視による遠隔操作





モニター映像による遠隔操作





【遠隔操縦式バックホウ出動実績（平成16年以降）】

出動日	出動先	規格	目的
H16.12.07～14	香川県三豊郡財田町	0.45m3級	R32土砂崩壊による撤去作業
H17.02.28～03.31	徳島県那賀郡木頭村	0.45m3級	R195土砂崩壊による撤去作業
H20.04.25～05.15	高知県吾川郡いの町	0.45m3級	R194土砂崩壊
H28.04.18～06.08	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	0.45m3級	平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業
H28.04.18～09.29	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	1.0m3級	平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業
H29.11.22～23	愛媛県西条市中奥	0.45m3級	県道12号崩壊現場の撤去作業
H30.07.14～11.13	高知県長岡郡大豊町	1.0m3級	平成30年7月豪雨　崩壊箇所の土砂撤去作業
H30.09.07～22	北海道勇払郡厚真町	0.45m3級	平成30年北海道胆振東部地震における支援

※注：1.0m3級：1.0m3級遠隔操縦式バックホウ（空輸対応型・分解組立型）
　　0.45m3級：0.45m3級遠隔操縦式バックホウ

災害現場における遠隔操縦式バックホウの出動事例

（平成30年　7月高知自動車道立川橋復旧現場（高知県長岡郡大豊町））



平成30年7月7日未明、梅雨前線の活発化による豪雨のため、大豊町の高知自動車道で大規模な斜面崩壊が発生し、上り線の立川橋が流出。
　H30.7.14～11.13当事務所保有の遠隔操縦式バックホウ1.0m3級にて災害復旧を支援。



目視が困難な場所は、モニタにより確認しながら遠隔操作を行う。



※　バックホウは油圧ショベルとも言われている建設機械です。遠隔操縦式バックホウは、二次災害の発生が予想される危険な災害現場でもオペレータは、機械から最大150m離れた安全な場所から遠隔操作できます。

【簡易遠隔操縦装置の概要】





概要
汎用建設機械（バックホウ）に装着し、無線による遠隔操縦が可能な装置

使用目的
2次災害の恐れのある災害箇所（土砂崩れ、岩盤崩落）での復旧作業

特徴
ほとんどのバックホウへ装着可能（一部機種・超小型旋回型を除く）
バックホウ本体の改造不要・装着した状態で搭乗して操作可能
ワンボックスカー1台で運搬可能（90kg程度/1式）